

# 2019年度 東北大学 大学教員準備プログラム Tohoku U. PFFP(院生・ポスドク対象)

## 1. 目的

東北大学 大学教員準備プログラム(Tohoku University Preparing Future Faculty Program: Tohoku U. PFFP)は、大学教員を目指す全国の大学院博士課程後期の学生や、ポスドクドクトラルフェロー、専門研究員等を対象に、大学教員に求められる能力を実践的に学ぶ機会の提供を目的としています。

大学教員の職務は研究、教育、管理、社会貢献など多岐に渡っており、新任の大学教員は戸惑いや大きなストレスを感じます。円滑に初期キャリアを積んでいくことができるように、大学教員に必要な能力や知識の獲得を通じて、大学教授職への準備を図り、プログラムでの経験を内省することで、自己省察力を身につけます。

本プログラムは、新任教員を対象とした東北大学 新任教員プログラム (Tohoku U. NFP) と合同で実施します。

## 2. 達成目標

参加者は次のことが出来るようになることを目指します。

- 生涯にわたり専門性を高めるために、効果的な省察ができるようになること
- 大学教員の役割、仕事を理解し、展望を持ってキャリアを設計できること
- 教育活動に関する基礎的知識を身につけ、自分なりの言葉で教育観を語れるようになること
- 異分野の研究や教育文化を知ること

## 3. 内容

目標を達成するために、以下のコンセプトに基づき様々な活動に取り組みます。



具体的な活動は以下の通りです。

### 1. スタートアップ研修(仕事を理解する・比較の目を育てる・同僚とつながる)

スタートアップ研修
<b>概要</b> 東北大学 新任教員プログラム(Tohoku U. PFFP)の参加者の顔合わせです。自己紹介, プログラムの説明, 大学教員の仕事と専門性(レクチャー), 比較の目を育てる(ワークショップ), 事務手続き等を行います。参加者はこれらの活動を通じて, お互いのことを知り, これからの活動にむけての準備を始めます。
<b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● PFFP の目的に関する講義</li><li>● 大学教員の役割と大学教育に関するレクチャー</li><li>● 比較の目を育てるワークショップ</li><li>● 課題とリフレクティブ・ジャーナルの説明</li><li>● 終了後に懇親会(18:00~)</li></ul>
日程 2019年6月29日(土) 10:00~17:30

### 2. 授業観の転換とインストラクショナルデザイン(基礎知識を得る・実践力を磨く)

授業観の転換とインストラクショナルデザイン
<b>概要</b> 今日の大学では, 国際的に学習者中心の教育へとパラダイムシフトが進みつつあります。この際にキーとなる概念がインストラクショナルデザインです。このワークショップではインストラクショナルデザインの考え方について学ぶとともに, インストラクショナルデザインに基づく授業の作り方について実践的に理解を深めます。
<b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● インストラクショナルデザインとは</li><li>● インストラクショナルデザインに基づく授業設計</li></ul>
日程 2019年7月19日(金) 13:30~17:00(予定)

### 3. 教育方法・学生理解に関する e-learning(基礎知識を得る)

教育方法・学生理解に関する e-learning
<b>概要</b> 先進的な授業方法や, 現代大学生の理解について, 動画を視聴し理解を深めてもらいます。具体的な動画の内容, 学習の進め方についてはプログラムの中でお伝えします。
<b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● プログラム開始後に周知します</li></ul> 7月~8月中に Web 上で視聴し, リフレクティブ・ジャーナルを執筆・提出してもらいます

#### 4. 大学の授業を設計する:授業デザインとシラバス作成(基礎知識を得る・実践力を磨く・比較の目を育てる)

大学の授業を設計する:授業デザインとシラバス作成
<b>概要</b> あなたは何を基準にして,どのような手順で授業を設計していますか?本ワークショップでは大学の授業における目標,活動,評価や授業設計について,シラバス作成を通して考えます。参加者は事前にシラバスを作成し,提出します。
<b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 授業目標,評価の方法,教育内容の設計</li><li>● ルーブリックによる評価</li><li>● 授業外学習時間</li><li>● 自分のシラバスの改善</li></ul>
日程 2019年8月27日(火)13:30~17:00

#### 5. 授業づくり:準備と運営(基礎知識を得る・実践力を磨く)

授業づくり:準備と運営
<b>概要</b> 学習者が集中し,十分に理解できるような授業をつくるためには何に留意し,どのような準備をして,いかに授業を展開すると良いのでしょうか。一回の講義形式の授業を念頭において学びます。
<b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 理解の認知プロセス</li><li>● 知識の活性化</li><li>● メンタルモデルの構築</li><li>● 気持ちのコントロール</li></ul>
日程 2019年9月18日(水)13:30~15:30

#### 6. コーチング技能を活用した学生指導(基礎知識を得る・実践力を磨く)

コーチング技能を活用した学生指導
<b>概要</b> 大学教員の仕事として,研究や授業のほかにも,後進を育てる学生・院生指導も重要です。本ワークショップでは,コーチング技術の開発に取り組んできた医工学研究科の出江紳一先生を迎え,学生にヒントや挑戦を与えたり,動機づけ,励まし,対話を行う活動を実践的に学びます。
<b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● コーチング技術に関する講義</li><li>● ワークショップ</li></ul>
日程 2019年11月21日(木) 13:30~16:40

## 7. 授業参観:授業を見る聞く学ぶ(先達から学ぶ・比較の目を育てる)

### 授業参観:授業を見る聞く学ぶ

#### 概要

実際の授業を参観し、自分の教育活動を考えるヒントを得ます。授業後には授業担当者とふり返しを行い、授業内の工夫や授業前の準備、担当者の教育観などについて学びます。授業参観は2回実施しますが、そのうち1回については、受講者自身に参観授業を見つけてきてもらいます。こちらで提供する授業参観については複数の候補の中から選択してもらいます。

#### 内容

- 実授業の参観(2件)
- 授業担当者とのふり返し

日程 2019年10月～2020年1月

## 8. 先達コンサルテーション(先達から学ぶ)

### 先達コンサルテーション

#### 概要

プログラムへの参加を通して生まれた疑問や、自らの課題について、先達教員との個人面談を実施します。教育はもちろん、研究や大学運営、今後のキャリアなど、参加者の関心に応じてアドバイスがもらえます。事前にコンサルテーションを受けたい内容について、メモを作成してもらいます。

#### 内容

- 教育、研究、大学運営等、自身の関心に基づき先達教員からアドバイスを得る

日程 2019年11月～2020年1月

## 9. マイクロティーチング(実践力を磨く・比較の目を育てる・先達から学ぶ・同僚とつながる)

### マイクロティーチング

#### 概要

実践力を身につけるには、何事にも経験とそのふり返しが必要です。参加者は先に実施されたワークショップ「大学の授業を設計する:授業デザインとシラバス作成」で作成したシラバスから授業1回分を選び、90分の授業計画をたて、その内の10分程度を実際に行います(これをマイクロティーチングといいます)。他の参加者からのコメントをもとに、自分の授業計画をふり返ります。

#### 内容

- マイクロティーチングの実践と参加者同士のディスカッション
- セルフリフレクションの実践

日程 2020年2月 予定

## 10. リフレクティブ・ジャーナルの執筆(自己省察力を養う)

リフレクティブ・ジャーナルの執筆
<b>概要</b> それぞれの活動を通して学んだことや気づいたことについて、リフレクティブ・ジャーナルを書いてもらいます。リフレクティブ・ジャーナルの執筆を通じて、自分なりの教育観の構築を目指します。
<b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 各セミナー、ワークショップ受講後に実践をふり返って記録する</li></ul>
<b>日程</b> プログラム実施期間中随時

## 11. 国内他大学訪問調査(オプション)(比較の目を育てる・仕事を理解する・同僚とつながる)

国内他大学訪問調査(オプション)
<b>概要</b> 自身の置かれている環境や、その特徴を理解するためには、多様な具体例を知り、それと相対化しながら理解を深めることが重要です。本プログラムでは、国内他大学の授業参観、教員とのディスカッションにより、多様な大学の在り方などについて理解を深める機会を提供しています。参加者は希望調査のうえ、参加人数を考慮し決定します。なお、希望者が少ない場合には訪問調査は実施されない場合があります。
<b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 授業参観</li><li>● ディスカッション</li><li>● フィールドワーク</li></ul>
<b>日程</b> 国内:2019年10月～11月予定 日帰りもしくは1泊2日

## 12. 成果報告会(自己省察力を養う・同僚とつながる・先達から学ぶ)

成果報告会
<b>概要</b> 2019年度 Tohoku U. NFP の成果報告を行います。プログラムを通じて学んだこと・考えたことなどを共有し、大学教員職や教育に関する理解を更に深めることを目的としています。最後に、東北大学 高度教養教育・学生支援機構より修了証の授与を行います。
<b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● プログラムでの経験に関する共有、ディスカッション</li><li>● 先達教員からのコメント</li><li>● 修了証授与</li><li>● 打ち上げ</li></ul>
<b>日程</b> 2020年3月中～下旬予定

#### 4. 成果報告

本プログラムでは、課題レポートの提出と参加報告会での発表により、プログラムの成果報告を求めます。

##### 【課題レポート】

プログラムで経験したことやこれまでに執筆したりフレクティブ・ジャーナルも踏まえながら、以下のテーマで、4000字程度でレポートを作成してください。

「①現在の大学教育における課題は何だと思えますか、また、②どのような大学教育を重要だと考え、③今後大学教員になった際にどのような行動をとっていきたいと思っているのかについて、自分の考えを述べてください」

提出期限：2020年3月1日(日)